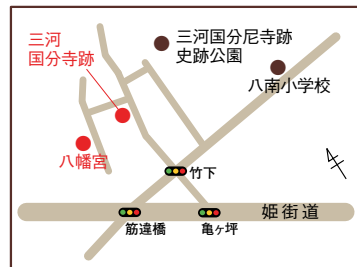




みつけた!



国分寺と深い関わりのある八幡宮



八幡町には、うっそうとした木々に覆われた八幡宮があります。この八幡宮のそばには三河国分寺跡があり、二つは深い関わりがあるのをご存知でしょうか。

八幡宮は、社伝によれば7世紀半ばごろに大分県の宇佐八幡宮から神仏を移し祭られました。後の天平13(741)年に聖武天皇の詔をうけて国分寺が全国に建てられ、三河では八幡の地に置かれました。八幡宮はこの国分寺の鎮守の神とてあがめられたそうです。

その後、国分寺は10世紀ごろに衰退したと考えられ、16世紀初頭に同じ場所で現在の国分寺が再興されました。現在の国分寺には、八幡宮の中にあつた神宮寺から移された薬師如来坐像が安置されており、二つの関わりを示しています。

八幡宮の正面の大鳥居をくぐると、石の祠や拝殿、荘厳な本殿などがあります。現在の本殿は、文明9(1477)年に建てられたもので、国の重要文化財に指定されています。周辺には三河国分寺跡史跡公園もありますので、八幡宮周辺を歴史散策してみてもはいかがでしょうか。

